

テキスタイルカレッジ 『染色加工基礎講座』

多様なテキスタイル素材に関連する染色加工技術、品質保証などについて実践的な知識を得たいと思っておられる方々を対象に「やさしく、わかりやすく解説する講座」を企画しました。

染色加工に従事されている方々のみならず、アパレル製品の品質問題で日々悩んでおられる方々、アパレル製品の企画、設計、販売に携わっておられる方々、クリーニング関係の方々など、幅広い分野の方々のご参加をお待ちしています。

【期日】平成28年7月7日（木）、8日（金）

【会場】大阪科学技術センタービル（大阪市西区靱本町1-8-4）

<http://www.ostec-room.com/html/access/access.html>

【内容】予定

1日目【7月7日（木）】

（1）染色加工概論（9.30～12.30）

元鐘紡、改森技術士事務所代表 改森道信

染色加工に携わる方のみならず、企画や販売、クリーニング関係の方々などより広い方々を対象に、繊維素材に色をつける方法、実用衣料に適した性能をもたせる染色加工の基礎をできるだけ平易に説明します。なお、衣料関係に用いられるのは綿やポリエステルが中心なのでこれらを中心に解説します。

（2）染料概論（13.30～15.30）

元住友化学、日本繊維技術士センター 理事 今田邦彦

染色される繊維の化学構造や物性に対応して、それぞれの繊維の染色に適した種属の染料が開発され利用されています。ここでは、各種繊維に適した染料種属とその特徴について解説し、それぞれの繊維と染料の特性に応じた最適染色条件の設定についても説明します。

（3）セルロース系繊維の染色加工（15.30～18.00）

東洋紡リビングサービス（株）代表取締役 橋本嘉顯

綿などのセルロース系繊維を中心とした素材の染色加工において、連続生産方式による加工工程、技術について解説します。また、最近の機能加工についても紹介しながら説明します。

2日目【7月8日（金）】

(4) タンパク質系繊維の染色加工 (9.30~12.00)

元日本毛織、日本羊毛産業協会 専務理事 長澤則夫

ウールの繊維構造は複雑であり、染色・仕上加工を行う方法は多様です。このことを理解するにはまずウールの構造を知る必要があります。ここでは時間をかけてウールの繊維構造を説明し、その上で染色を始めとする付加価値加工の実際について解説します。シルクについても同様に取り上げます。

(5) 合成繊維の染色加工 (13.00~16.00)

元帝人、日本繊維技術士センター 執行役員 嶋田幸二郎

ポリエステルとともにナイロン、アクリル等合成繊維の染色加工技術および加工方法について基礎的な考え方についてわかりやすく解説します。さらに原糸開発とともに行った付加価値向上の最近の高機能加工について、コーティングやラミネート等を含めてサンプルや体験に基づいて解説します。

(6) 環境技術概論 (16.00~18.00)

元日本染色協会、日本繊維技術士センター 理事 森本國宏

染色加工に必要な各種資源、特にエネルギー、水、染薬剤等の使用に伴う環境側面(インパクト)について法規制を中心として、省エネ、大気・排水規制、ケミカルハザードへの解決法や改善策などの事例をまじえて解説します。

【協 賛】 大阪染色協会

【定 員】 30名 (定員になり次第締め切らせて頂きます)

【参加費】 会員 25,000円, 協賛団体会員 25,000円, 非会員 33,000円
学生会員 3,000円, 学生非会員 5,000円 (税別)

【申 込】 「染色加工基礎講座」と明記し、①氏名、②所属、③連絡先(所在地、電話番号、E-mailアドレス)、④会員種別を記入の上、FAXまたはE-mailにて下記宛お申し込み下さい。

【申込先】 日本繊維機械学会 TEL.06-6443-4691, FAX.06-6443-4694, E-mail: info@tmsj.or.jp

FAX : 0 6 - 6 4 4 3 - 4 6 9 4 / E-mail : info@tmsj.or.jp

平成 28 年 7 月 7 日 (木)、8 日 (金) 開催

テキスタイルカレッジ「染色加工基礎講座」参加申込書

フリガナ

氏 名 : _____

勤務先 : _____

所属部課名 : _____

繊維分野の就業年数 _____ 年

所在地 : 〒 _____

連絡先 TEL : _____

E-mail: _____

会員種別 : _____

連絡事項 :

今後、本学会からの開催行事案内メール配信を

希望する ・ 希望しない

希望するを選ばれた場合メールアドレスを記載下さい

E-mail: _____